



ベリタスプラザ -6月5日(金)校内公開 / 6月6日(土)一般公開-

今年度は「祭高、いま生成中」というスローガンのもと、ベリタスプラザが開催されました。生徒たちは活気と笑顔で溢れ、まさに青春を謳歌する様子が見られました。

ステージ発表、文化部展示、各HR展、校内装飾など、それぞれ工夫を凝らして楽しめたようです。



理数コース高大連携講座 -6月9日(火)6限・7限-

理数コース科学探究の授業で高大連携講座を実施しました。
この講座は3回継続のもので、今回は2回目でした。

講師：東京大学名誉教授 栗田敬先生

講義内容

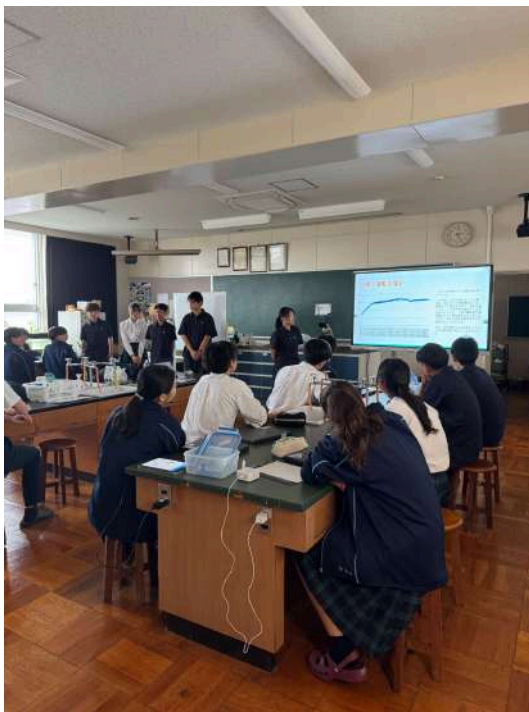
- ・ 前回の結果報告
- ・ 納豆菌の説明（宇宙農業の可能性）
- ・ 班ごとに考えた条件での実験装置をセット

前回は、1班標準・2班豆乳量減・3班納豆菌2倍・4班アリナミンV加える・5班アルコール噴射・6班電子レンジ・7班プリン・8班土なし・9班目が加えるという内容で実験装置をセットしました。

2週間二酸化炭素量を測定し、そのデータをグラフ化して納豆菌の働きを活性化または不活性化させる条件について、考察したことを報告し合いました。

今回は、その結果に基づいて、各班で実験条件を考え、装置をセットしました。

2週間後、どのような結果が得られるか、今からとても楽しみです。



🌻 東京大学 CSISセンター長:関本先生によるUDC2026 学校連携講座 -6月12日(金)-

2年生「情報II」授業選択生徒が東京大学 空間情報科学研究センター(CSIS)センター長 関本教授によるアーバンデータチャレンジ(UDC)2026 学校連携による講座を受講しました。

この講座は昨年度参加したUDC2025にて、情報IIメンバーがファイナル審査で銀賞をいただいたのをきっかけに2026年度に学校連携を結び、本校での対面授業が実現しました。

講師：東京大学 空間情報科学研究センター（CSIS）センター長 関本義秀(せきもと よしひで)教授

タイトル：都市のサステナブルなデジタルツインに向けて

内容：・人の流れプロジェクト

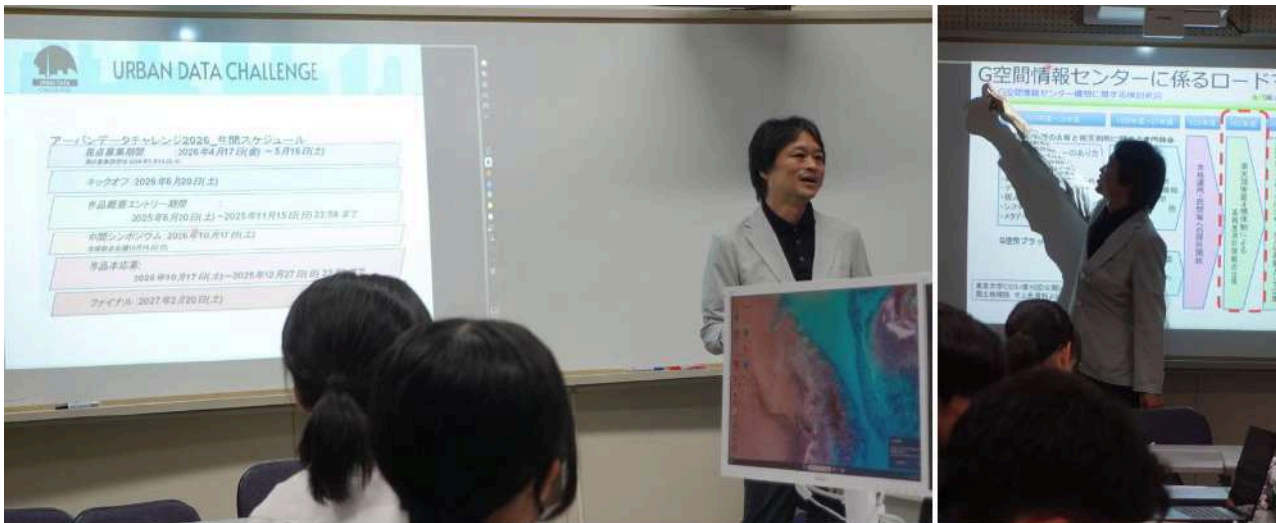
- ・市民協働型インフラ管理ツール:My City Report (MCR)
- ・市民協働型都市計画ツール:My City Forecast (MCF)
- ・サステナブルなスマートシティに向けた様々な空間データの流通
- ・UDC2026について

講義では、空間情報科学研究センターが研究している先進的な取り組みの数々をご紹介いただきました。スマートフォンを利用した位置情報から災害時の避難行動や感染症流行時の分析ができることや市民協働型でデータを集め社会参画する事例からシビックテックの意義などを学びました。

生徒たちの授業後の感想には

- ・データは専門家のための数学ではなく、社会問題を解決し命を守るための強力な武器だとわかった。
 - ・100年後の未来を長く生きる自分たち若者世代こそが、都市計画に関わるべきだと思った。
 - ・理数分野の学びはテストのためのものではなく、実際の社会貢献に直結する実践的なスキルだと思った。
 - ・世界で誰もやることがない研究であっても、探究心を信じて突き進むことの大切さを学んだ。
- とあり、データサイエンスへの興味がさらに深まるものになりました。

情報IIの生徒たちは現在、10のグループに分かれて、それぞれが考える社会問題解決の探究を行っており、今後、UDC2026をはじめとするコンテストへ挑戦していきます。



🌻 放課後キャリア教育講座 浜松医科大学高大連携「医大の学びと進路のリアル」 -6月16日(火)-

6月16日(火)の放課後LCルームにて、浜松医科大学から2名の講師をお迎えし、STEAMキャリア教育講座 浜松医科大学高大連携「医大の学びと進路のリアル」を行いました。

浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター特任助教の成瀬 愛子(なるせ あいこ)先生からは、アントレプレナーシップ講座として、浜松医科大学をはじめ、東京大学のアントレプレナー道場など、各大学のプログラムをご紹介いただきました。

医学部医学科6年の森谷優人(もりや ゆうと)さんからは、高校の時にどんな受験生であったか、医大生での1年生から医者になるまでの授業の詳細、医療従事者にとって大切なことなどの講義の他、クイズや聴診器体験、最後には本物のエコーで自分たちの体内を見るという貴重な体験までさせていただきました。

当日は、自由参加にもかかわらず、合計59名(そのうち理数コース25名)と非常に多くの生徒が参加し、進路について考える時間を持つことができました。医師、技師、看護などを真剣に考えている生徒が多く、講師の医大生に挙手をして質問したり、Chromebookで真剣にメモをつくっている姿が見られました。

受講後の生徒たちは、

- ・ 普段、友達や周りの人に聞きづらい内容だったので、専門の先生から正しい知識を教えてもらえて嬉しかった。
 - ・ これからの自分に起こるかもしれない変化や悩みについて、今のうちに知ることができて安心した。
 - ・ 将来自分が後悔しないためにも、自分の行動に責任を持つようにしたい。
- などの感想を持ち、専門性の高い職業への興味関心を高め、包括的な視野を学ぶとともに自身のキャリアを具体的に考え、日々の学びにつながる機会となりました。



🌻 思春期セミナー -6月16日(火) LHR-

6月16日(火)の1年生のLHRで思春期セミナーが開催されました。聖隷福祉事業団 産婦人科の入駒 麻希先生と、聖隷浜松病院 リプロダクションセンターの今井 伸先生をお招きし、男女別に分かれて「性」について正しい知識を学びました。

セミナーでは、心身の成長や性への理解を深めるだけでなく、自分自身の意思で適切な選択(意思決定)を行うことの重要性が伝えられました。また、性の多様性についても学び、生徒たちは互いの違いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会について考える貴重なきっかけを得ました。

もし不安や悩みがあれば、一人で抱え込まずに信頼できる大人に相談しましょう。

🌻薬学講座 -6月23日(火) LHR-

6月23日(火)のLHRで、全校生徒を対象に薬学講座が開催されました。薬剤師の木野 未貴先生をお招きし、タバコの有害性や薬の正しい取り扱いについて学びました。

講座では、煙が消えた後も壁や衣服に有害物質が残る「三次喫煙」のリスクや、身近な市販薬でも起こり得る「うっかりドーピング」など、私たちの身の回りに潜む危険について解説されました。また、ダイエット目的での薬の不適切な使用やオーバードーズ(OD)といった薬物乱用の恐ろしさ、薬を飲む正しいタイミングについても詳しく学び、薬と正しく付き合うことの重要性を実感することができました。



🌻授業参観の御礼 -6月26日(金)5・6限-

6月26日(金)の5時限目、6時限目に授業参観を実施しました。

計224名(1学年130名、2学年48名、3学年46名)の保護者の皆様にご来校いただきました。

ご多用のところ、生徒の学校生活の様子を参観していただき、誠にありがとうございました。いただいたご意見・ご感想につきましては、教職員で共有させていただき、今後の学校教育に生かしてまいります。

🌻校内英語スピーチコンテスト -6月26日(金)放課後-

緊張感が漂う中、8名の生徒がスピーチを披露しました。厳正な審査の結果、以下の通り入賞者が決定いたしました。以下、受賞した生徒は9月中旬に行われる西部地区大会に出場します。

【一般の部】

👑 第1位 25HR 伊藤 伸悟

👑 第2位 25HR 青島 史玖

【帰国子女の部】

👑 第1位 19HR 島田 くらら



ルーマニアとの国際交流

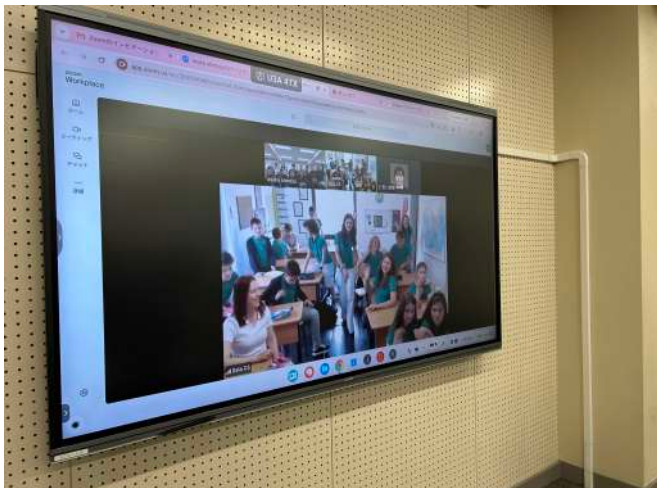
現在、国際交流の一環で東欧にあるルーマニアと様々な形で交流を行っています。

6月2日（火）にルーマニアのオヴィディヴ・アレクサンドル・ラエツキ駐日大使が17HRの英語の授業に参加されました。外国人が日本での生活に必要なことをテーマに作成したポスターを生徒たちが発表し、大使に直接ポスターをお渡ししたほか、大使に積極的に質問し、記念撮影をして交流を行いました。その後、校長先生に案内していただき、ペリタスプラザ前の賑やかな校内を見学して頂きました。茶道部の生徒がお茶を点てて、日本文化に触れていただきました。

6月15日（月）にはルーマニアの私立学校 Euroed High Schoolとオンラインで交流会を行いました。1年生の希望者が多数参加し、英語が母語ではない生徒たちがお互いの国の文化や学校について紹介し合いました。アニメや、雅楽、体育座りなど日本独自の文化についてスライドを用いて紹介し、Euroed High Schoolの生徒は日常生活や、学校について紹介していただきました。英語を勉強することへのさらなるモチベーション向上になりました。

6月22日（月）には、35HRの英語の授業で角 悠介先生に「ルーマニアの魔女と民間信仰」についての講話を行っていただきました。角先生はルーマニア国立バベシュ・ボヨイ大学 日本文化センター所長であり、言語学者として日本語で本も出版されている方です。ルーマニアには民間信仰として未だに魔女がいて、呪文などが日常生活に密接していることをお話していただきました。世界史を選択している生徒は非常に興味深く話を聞いていました。

来月、7月23日（木）にはルーマニア人の留学生 カルメンさんをお迎えしてルーマニアのお菓子を作るイベントを予定しています。英語を使って交流したい人、海外のお菓子を食べてみたい人はぜひ参加してください。



3 学年教員からのメッセージ

前回通信での **2 学年**に引き続き、今号は“**3 学年**”担当の教員12名からのメッセージを掲載します。

([] 内所属教科 担当科目 / 担当部活)

***3 学年主任 今泉 孝夫** [数学科] 担当：バドミントン部

3 学年主任の今泉です。平素は本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。さて、入学当初からあつという間に3 学年になり、先日の学年集会では受験に向けたクラス内の雰囲気の大切さについて話しました。本校に勤務してから20年余りになりますが、3 学年理系クラスの担任を受け持つ機会が多く、受験に向けたクラス内の雰囲気作りの大切さについて話してきました。受験が早く済んだ人がクラスの中で遊びモードの雰囲気を出してしまうと全体的にうまくいかなくなってしまいます。受験が済んだ人は、この先の受験に向けて真剣に取り組んでいる人に対してフォローをしてあげることが大切です。早期に受験が終了した人は、家で大いに楽しむのはいいかと思いますが、公共の場であるクラスの中では自分で将来の課題を探して学習するなど、これから受験をする人のことを考えながらともに時間を過ごしていくことが大切かと思えます。自分がこれまでに受け持ったクラスの経験では、この雰囲気をキープできたときには最後まで全体のモチベーションが高く、受験がうまくいったケースが多かったです。3 学年全員が自分の目標を達成できることを心から願っております。

***31HR担任 佐々木 深雪** [国語科] 担当：演劇部

31HR担任の佐々木です。3 年進学コース進路担当もしているため生徒から日々進路の相談を受けますが、その顔や言葉は当たり前ですが不安に満ちています。それを解消するためにできることは、「やることを明文化する」です。①今すぐにできること、②夏休みにやること、③2 学期になってから進めること、④受験直前にやること、などと時期に分けて整理しておくといいですね。これが意外と難しい。「才能の不足を暴露するかもしれないとの卑怯な危惧と、刻苦をいとう怠惰とが俺の全てだったのだ。」(中島敦『山月記』より)とならないよう、気をつけたいものです。

***32HR担任 戎 智子** [保健体育科] 担当：ダンス部

32HR担任の戎です。高校生活も最後の年になりました。18歳で成人を迎える生徒たちにとって、今年は大人への第一歩です。「自分の目指す道や仕事を通して、どう社会に貢献したいか」を考える進路選択は、本来とても夢があるものです。受験は苦しさもありますが、同時に未来を描くワクワク感も大切にしてほしいと願っています。保護者の皆様、ご家庭では温かい見守りと、時には背中を押す励ましをお願いします。1 年間、どうぞよろしく願いいたします。

***33HR担任 大場 竜征** [保健体育科] 担当：男子バスケットボール部

33HR担任の大場です。聖星2 年目、そして昨年から引き続き皆さんと一緒に進級し、初めての3 年生担任として受験という大きな壁に挑めることを嬉しく思っています。私が大切にしている言葉は「心なくして勝利なし」です。受験を乗り越えるために必要なのは、知識だけでなく、困難に立ち向かう強い「心」と、お互いを支え合う「心」です。皆さんがこれまでどれほど努力し、成長してきたか、私は一番近くで見守ってきました。時に不安に負けそうになっても、皆さんの後ろにはいつも私たちがついていきます。最後まで熱い心を持って、最高の春を全員で迎えましょう！

***34HR担任 園川 香おり** [情報科] 担当：情報処理部

34HR担任の園川です。情報科とキャリア教育を担当しております。ほとんど同じメンバーで持ち上がったこの進学コース理系クラスは、明るく前向きで、何事にも一生懸命な生徒ばかりです。現在、年内合格を目指す生徒と一般受験を目指す生徒が混在し、それぞれの進学実現を見据えて真剣に取り組んでいます。情報科で培う論理的思考力と、キャリア教育の視点を活かし、生徒たちが自分の未来を力強く描けるよう、経験のすべてを注いでまいります。大切なこの1年、担任として一人ひとりと真剣に向き合い、全力で支えていく覚悟です。ご家庭と二人三脚で歩んでいきたいと存じます。1 年間、どうぞよろしく願いいたします。

＊35HR担任 中村 隆之 [英語科] 担当：軽音部

35HR担任の中村です。素晴らしい生徒たちに恵まれ、毎日大変充実した日々を過ごしております。最高学年となり、考え方もしっかりしてきた生徒たちとは、知的好奇心を刺激されるような深い会話ができるようになり、日々の成長を頼もしく実感しております。日頃からこちらの意図をよく汲み取って行動してくれ、非常に一体感のあるクラスだと感じております。退職再雇用の身である私を温かく気遣ってくれる優しい生徒たちには、心から感謝しております。教員生活の集大成として、生徒全員が第一志望の大学に合格できるよう、誠心誠意、指導に邁進する所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

＊36HR担任 田中 陵汰 [理科] 担当：男子サッカー部／サイエンス部

36HR担任の田中です。一般受験を第一志望として考える生徒がほとんどの特進コースということもあり、日々の勉強時間や共通テストまでの残り日数を意識させています。私がよく話をしていることは「共通テストまでの約200日を頑張るか、就職した後の40年を頑張るか」です。今頑張れば志望している大学に入ることができ、将来も明るいものが待っているでしょう。しかし、目先の娯楽に時間を奪われれば、志望した大学に入らずに将来苦労するかもしれないということです。そうならないよう全力でサポートしていきます。受験は団体戦。

＊37HR担任 新村 桂司 [理科] 担当：テニス部

37HR担任の新村です。3年間理数コースの担任を務めてきました。良くも悪くも理数コースらしい生徒の集団かと思えます。理数コース2期生として今後理数コースの発展につながるような活躍を期待しています。勉強は自分のためにやるものだと思いつき始めた生徒が多くなってきました。この内発的な動機づけが受験勉強の最大の推進力になります。受験のための勉強も大切ですが、やったことは全て皆さんの人生に役立つこととなります。このことを信じてがんばっていきましょう。

＊学年付 児玉 美奈子 [国語科] 担当：吹奏楽部

先日、私の知っている紫陽花とは違う紫陽花をみました。それは一つ一つの花びらが八重になっている紫陽花でした。知らないうちに世界は変わっていくのだなあ、と実感した次第です。

先日、3年生から「相談があります」と言われました。聞いてみると「後輩がタメ口なんです」「後輩が目上の人に敬語が使えないんです」という相談でした。「自分たちも先生方にタメ口だったのに、そこは気になるんだ」と興味深く感じました。しかし、そこが気になるのはいつの世も変わらないことかもしれません。そこが気になるようになったことは成長の証でもあります。

変わっていくもの、変わらないもの。その両方を見極めてこそその成長です。生徒たちの成長を慎重に見守りたいと思う今日このごろです。

＊学年付 石川 雅也 [保健体育科] 担当：女子バスケットボール

「逆風は振り返れば追い風になる」

自分の進路、模試の結果など思い通りにならず悩むことがよくあると思います。ただ、その悩みや逆境こそが、自分を成長させるエネルギー（変化のきっかけ）になります。周りと比べる必要はなく、自分のペースで努力し続ける事ができれば道は開かれるはずで、自分の時間を有効に使ってください。応援してます。

***学年付 池山 直樹 [数学科] 担当：情報処理部**

数字の「三」は「参」とも書きます。発音が同じ「サン」だからだと思っていましたが、「参」のものになった象形文字は、頭上に輝く三つの星の姿だそうです。加藤常賢先生という学者は星でなく簪（かんざし）に飾られた三つの珠、白川静先生という学者は三本の簪という説を唱えていますが、いずれにせよ、元々「三」の意味があったのですね（旧字体の「参」は「ム」が3個あります）。そしてどの説でも光り輝くものです。三年生の皆さん、光り輝いてください。それはこれからの努力にかかっています。

***学年付 白畑 霞 [地歴公民科]**

「山高きが故に貴からず。樹有るを以て貴しとす。」「人肥えたるが故に貴からず。智有るを以て貴しとなす。」山は高いから価値があるのではなく、そこに樹があるからこそ価値がある。人も裕福だから立派なのではなく、優れた知恵があるからこそ立派なのだ。平安末期から明治まで子ども教育用の教科書として普及した「実語教」の冒頭です。3年生は、進路実現のために忙しい日々を送っていると思いますが、今勉強しているのは将来の名誉やお金のためではありません。勉強して得た知恵を世のため人のために使う本当の意味での立派な大人になってください。応援しています。私も目的を忘れずに勉学に励みます。

7月の行事予定

1	水	委員会	17	金	家庭学習日《成績処理・一覧表作成》
2	木	7限あり	18	土	《成績会議・職員会議》
3	金	情報Ⅱあり	19	日	
4	土		20	月	海の日
5	日	第1回英検2次	21	火	終業式・生徒会選挙 1年理数コース科学探究（午後）
6	月	期末試験、職員研修（保健）	22	水	成績不良者再試、夏期課外（前期）
7	火	期末試験、1年生保護者対象進路ガイダンス（校外会場）、職員研修（宗教）	23	木	成績不良者再試、夏期課外（前期）
8	水	期末試験、2年生保護者対象進路ガイダンス（校外会場）	24	金	夏期課外（前期）
9	木	期末試験	25	土	
10	金	情報Ⅱあり、課外あり	26	日	夏期アメリカ研修（～8月9日） 夏のオープンスクール
11	土	SP④	27	月	夏期課外（前期）
12	日		28	火	夏期課外（前期）
13	月	2・3年対象進路説明会Ⅰ部Ⅱ部（放課後） 7限あり、課外あり	29	水	夏期課外（前期）
14	火	1年理数コース高大連携講座・浜松医科大学（6限・LHR） 2・3年対象進路説明会Ⅰ部Ⅱ部（放課後） 課外あり	30	木	第2回全統共通テスト模試文系科目（3年理数特進＋希望者）
15	水	学年集会、2・3年対象進路説明会Ⅰ部Ⅱ部（放課後）	31	金	第2回全統共通テスト模試理系科目（3年理数特進＋希望者）
16	木	2・3年対象進路説明会Ⅰ部Ⅱ部（放課後） 7限あり、課外あり			

※7月22日(水)～24日(金)、27日(月)～29日(水)の6日間で希望者対象の**前期夏期課外**を実施します。開講予定科目は次の通りです。

1年生:国語,数学,英語

2年生:国語,数学,英語,化学,物理,歴史総合

3年生: 国語,数学,英語,物理,生物,化学,政治経済,倫理,世界史探究,地理探究,日本史探究の共通テスト対策

🎉 8月の行事予定 🎊

11	火	【山の日】	22	土	夏のオープンスクール
13	木	休校日	24	月	夏期補講（後期）
14	金	休校日	25	火	夏期補講（後期）
17	月	GSP（～8月21日）	26	水	第2回全統記述模試（3年理数特進+希望者）
18	火	夏期補講（後期）	27	木	職員会議
19	水	夏期補講（後期）	28	金	始業式 1・2年進路ガイダンス+LHR（2・3限） 3年通常授業（2・3限）午後授業なし
20	木	夏期補講（後期）	29	土	【1・2年登校日】到達度テスト
21	金	夏期補講（後期）	31	月	防災訓練(45分授業) 7限あり、課外あり

※8月18日(火)～21日(金)、24日(月)、25日(火)の6日間で3年生希望者対象の後期夏期課外を実施します。

開講予定科目は次の通りです。

3年生:古文,数学Z,数学Y,英語,化学,物理,生物,日本史,世界史



浜松聖星高等学校

TEL：(053)454-5376 FAX：(053)453-4719 <https://hamamatsu-seisei.jp/>



公式Instagramも随時更新しております。ぜひご覧ください！